

タイトル「アーミーテイル～神を斬るヒモ侍～」

電光戦機のアーマーテイル

感電死、そしてヒモになる

感電探査のアーマーテイル

冒険者のヒモ、感電す

電光石火のヒモ、神を斬る

—概要—

セールスポイント

大正時代の異能剣劇。

異能のやり取りと、際立った近接戦でのやり取り

強大な力に臆せず抗うキャラクターたち

また、日常の部における達人たちのダメっぷりを演出し、ダメだからこそ戦闘での巧みっぷりが際立つようになっている

時代

大正っばい、西洋と和が混ざった世界観

場所

「金属の樹」の飛来に伴って、それらを調査する神が降臨したとされる日本

なんと**少数精鋭かつ近接戦闘で現代兵器を圧倒する**という荒業を成し、世界の頂点にたったとされる。

主人公

かつて国のエリートだった「七番剣士隊」の剣豪のメンバーで、現在は剣客という名のヒモである主人公。銀魂の銀さんっばい。

動機

ヒモになりたい主人公が、色々とその邪魔をしてくる神の勢力を叩き切りたいと思う話。

それだけじゃなく、神たちによって苦しんでいる身近な人たちやヒロインの為に、そして自分のヒモになりたいという願望を叶える為に神を斬りたいと思う。

目的

神を斬る。その末端である武装部隊「新撰組」、諜報部隊「見廻り組」、三神の一人でありながら現代の社会を壊そうとする神「始神勢力」にいるあらゆる達人を主人公が斬って

いくことが目的。あと、ヒモになるための環境整備のために。

#### 悪役

政府やテロリスト、どれも「神」が関連している。

悪役もいれば、対立しているだけの敵役もいる。

#### 冒頭

ダメ人間の剣豪が現れる。神を恐れない、一人の剣士は——ヒモになりたかった。

#### ラスト

一卷：神の舟を奥義でぶった斬る。

最終：元凶たる神、神が必死に抑え込んでいた真の神、「三界樹エリー」という金属の樹をぶった斬るのであった。

#### —コンセプト—

近接戦闘が至上とされ、日本が世界の頂点となった世界。そんな中で神からの刺客を主人公が人間の身で斬り、安全にヒモになるための環境整備のために再び剣を取るという話。

一言で言えば、銀魂に似た世界観に明確な物語の軸を設けた感じ。

あらゆる異能を、神の力を、技術力を、あらゆる達人の武器や技巧を、剣で乗り越えていく話。

#### —キャッチコピー—

「銀魂を異能ファンタジックにアレンジした世界」

「ヒモになる為に神を斬ります」

「ダメ人間が、最高の技術を持つ」

「強い奴は大体ダメ人間」

「弱い奴は大体カンペキ人間」

#### —登場人物—

・青江 重玄 あおえしげん 主人公

義手の青年。基本的に能天気でお人好し。家事炊事なんでもこなす優良物件でありながら働かない為であれば博打でも斬り合いでもとにかく何でもやろうとし、働かない事に何故か強い決意を持つダメ人間。欠片への適正を無理矢理獲得した落ちこぼれでありながら、【飯綱京八流】という剣術の達人であり、柔と剛を制する剣術を行使する。武装は重さを自在に変えることの出来る重力刀にして『一文字シリーズ』における無銘の業物。宿す神

の欠片は「ホノカグツチ」。業物としての銘は『衾々切丸』。

・エリーゼ＝ロックレス　メインヒロイン

中立街で診療所を経営する女性神官。19歳。鋼のメンタルを持ち、銃を額に突きつけられても啖呵を切る度胸を持つ。「悩まないタイプの努力家」であり、何事も愚直に頑張る。自分の生まれを卑下にせず、どんな時も前向きにいてくれる。

基本的にしたたかで斜に構えた不良女子。しかしその他は女性的であり、女子力の塊。作中における「達人はダメ人間」のアンチテーゼ的存在。近接戦闘能力は皆無だが神官としての才能は「神に至る」と言われるほどのモノを持ち、各勢力に狙われることに。彼女の力の影響で**神の欠片が機能しない**というデメリットがある。

町医者として働く神官という異端。父が剣士隊だが身弱だった母に手を出さず自分で自分を産み落とし、常に周囲と比べられて「忌み子」のレッテルを貼られ、剣士にもなれなかったことから才能もない事に捉われ、窮屈で惨めな人生だった。

しかし、自分を助け自分の目的のサポートをすることを買って出た青江重玄というダメ人間と関わる事で剣士に対する偏見は徐々に解かれ、そして自分勝手ながらも自分の願望にどこまでも真っすぐなシゲ個人に惹かれていくことに。

生まれつき、神の力を宿す存在。

・セリカ＝アナベル

ケモ耳の中立街の神官。エリーゼの妹分。姉に反して単純かつ泣き虫で、どうしても頭が巡らず、騙されることがしばしば存在するシスコン。神官としてはそこそこだが苦勞人で、調査やら他の仕事を趣味とするなどワーカホリック気味。ヒモの重玄を目の敵にしている。武装は上司のカーラ＝エニスをサポートする。

・八柳 宗近

過激派テロリスト集団「始神勢力」において筆頭の女性剣士。確固たる信念を以て現状の政府態勢を変えようと、「新たな神を生み出す」ことを目的にテロ活動を行っている。

カリスマ、頭脳ともに有能だが、何でも派手にやらかすことが好きなのと駄弁るのが大好きだったりするので慕う部下の仲裁が無いと話が脱線して進まなかったりする。

『湊北辰流』における機動抜刀術の達人。銘は『三日月宗近』。

・カーラ＝エニス

大地神イクスより『オートクレール』の名を襲名する眼鏡剣士。暴動事件を起こしたことにより、中立街の神官隊へと左遷されることに。基本的に冷静沈着だが、腕っぷしでキャリアを勝ち取ってきた経験から、短気で喧嘩っ早い。人には言えない犯罪歴も数多い。ヒモの重玄からは「風紀を正す制服が息していない」と言われるほど。風紀を正す存在で

ありながら司法国家でやってはいけない事をほぼ網羅する素養があるという最悪の理由から左遷されてる。レイピアによる早切りを主軸とした**レイピアによる居合**を得意としてる。

副業で路上ライブをしているらしく、あらゆる楽器を使いこなすがあまり稼げていないらしい。

#### —世界設定—

毒性の金属物質が空から飛来し、滅びかけた世界を降り立った神が日本を中心に統一した世界。

#### —用語—

##### ・神

この世界の敵。三界樹エリーから出でる、神話に出てくる神が**機械**として君臨したもの。神を象る機械。それこそがこの神たちの正体である。

これの所為で日本各地に鉍毒が散布され、生態系のバランスを崩し、ある種の防護壁となったこいつらの所為で、日本は世界に君臨することとなる。

しかし、ヒノ国は神の死体から武器を作り上げ、鉄界法で操るという対抗策を出してる。

##### ・三神

『三界樹エリー』が飛来し、鉍毒を飛散させて世界を滅ぼしかけたところへ、日本に現れた神を名乗る三人組。この三人の影響で異能の力、文明の力、武力をもたらしたことで日本が世界の頂点に君臨することが可能となっている。不老の存在で、300年以上は日本に存在している。始神デウス、大地神イクス、機神マキナという名称を持つ。

この三人は神としては異端であり、「端末」という形で人間の姿として君臨している。

・

##### ・欠片人 カケラビト

後述の『神の欠片』の力を行使できる人間のことを指す。

力の影響で天使の羽が生えたり、炎を宿すようになったり、ケモ耳が生えたり、獣そのものになったりすることがある。高い性能を持つカケラを宿すほどその傾向が強い。

また、遺伝子の暴走で機械そのものになったり、獣そのものになったりする事例がある。

##### ・神の欠片

倒したカミサマのパーツ。これらを武器に加工したりすることで現存する「神」に対抗している。これらを活用した奥義に神としての**ダークサイド**である荒魂を解放する「降魔

剣」という技がある。神の特性を宿し、攻撃に転じるアーツ使いの奥義である。いわゆる宝具。

作中では『欠片』と呼ばれる。

- ・士官

近接職。主に最前線で戦うことを前提とした機動隊員。国家の防衛や治安の取り締まり、国外調査や三界樹の調査など様々な業務に充てられる。

- ・神官

「士官」との連携を前提とした後方支援職全般のことを指す。扱いは高給取りのエリート。しかし、戦闘能力判定にD以上ないと戦線に出ることを許可されない。

武装は基本的に欠片に宿る「神」を直接使役してその能力に準じた支援や攻撃を後方から行う。

- ・業物 ワザモノ

国から授けられる称号。それぞれ伝説の武器の名前を関している。

- ・始神剣士隊

人類に不可能とされた三界樹の一層攻略を史上初めて完了し、結成から一か月で解散するという良い意味でも悪い意味でも伝説的な神直轄の機動部隊。構成員は二つ名を授かる。

現在は解散し、頭領である神と八柳宗近の様な数人の剣士はテロリストに、一部は政府の士官へと戻り、あるいはヒモになるなどメンバーは散り散りとなっている。

- ・神興国家「ヒノ国」

日本のこの世界での形。未知のテクノロジー、神の絶大な力、兵士一人一人の戦闘力などの理由から、各国からそれらを狙われている。が、全て返り討ちになっており、むしろ国の同一存在による内乱の方が厄介と思えるほど。近代兵器の戦闘機や銃弾、砲撃や戦艦などを剣など近接戦による原始的な戦法で圧倒するという計り知れない兵力を持っている。

これらのことを考えて暦も「神降暦」となっている。

- ・三界樹『エリー』

諸悪の根源。これらが日本に飛来し根っこの様に日本中に鉦脈を巡らせ鉦毒をまき散らしたことで全てが始まった。まるで「生きているように」敵を生み出す。イメージは星を侵食し、自身のものとする様子は「パルテナの鏡」の異星からの侵略者「オーラム」。

神話に準えて敵を作り上げており、ヘラクレスというネームドやキメラなどの雑魚種認

定されているものもある。

—ストーリー—